

ありがとう9条 世界に発信しよう！

日本国憲法
施行 65 年

5月3日は憲法記念日／憲法をくらしに活かそう

9条が変えられたら どんな国になりますか？

国策として「戦争のできる国」へ

- ① 9条を変えたら、今の平和国家「日本」の形が根本から変わってしまい、戦前のような国になります
- ② 日本の自衛隊がアメリカ軍に組み込まれ、共同で武力行使に踏み込んでいくことが想定されます。

くらし優先から軍事優先の国へ

- ① 戦争には膨大な軍事費が必要です。
- ② 戦前は、国の予算の80%を超えていた軍事費のために人間らしい暮らしが奪われました。
- ③ いちばん怖いのは「徴兵制」の復活です。若い人の尊い命が紙切れ一つの命令で奪われていくことを決して許してはいけません。

国民主権・基本的人権が壊されます

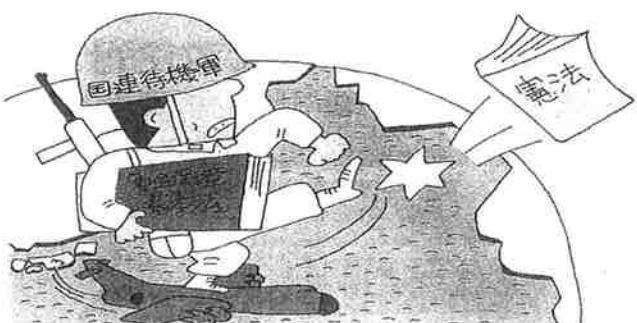
- ① 憲法は、平和主義・国民主権・基本的人権の3つの柱によって成り立っています。
- ② 憲法の命ともいえる平和主義が倒されたら残りの2つの柱もなくなります。
- ③ 平和な国から戦争する国へと変われば思想・信条・信教の自由をはじめ言論・出版・集会の自由も制限されます。
- ④ 戦争に反対する政治団体や労働組合の結成も処罰の対象になります。
- ⑤ 主人公であるはずの国民の自由と権利が国家権力によって奪われていくことになります。

平和と生命をまもる憲法を変えてはいけない

- ① 世界各地で戦争が絶えない今、9条を高く評価する声が世界に広がっています。
- ② さらに、25条で生存権を、27条で勤労権を保障しています。平和の中で、安心して働き続けることを約束しているのです。
- ③ 東日本大震災においても、憲法理念の「生命の尊厳」が基本におかれて対応されましたが、一方で「想定外」を理由に憲法理念を逸脱した動きがあったことを注視し、こうした動きを恒常化させてはいけません。
- ④ 未曾有の大震災からの復興は、生命を大切にする憲法理念を基本に進める声を上げましょう。
- ⑤ 憲法をまもり抜き、憲法理念を活かすことでの核も戦争もない「平和」が築かれ、生活再建や被災地の復旧・復興が実現するのです。

戦争は悪！ 9条をまもることが正義！

- ① 第9条は「日本はもう戦争はしません。いろんなもめごとは武力によってではなく、常に平和的に解決します。」と定めています。世界の人たちは、日本を「平和国家」として見てきましたが、憲法を変えることができる「国民投票法」が一昨年5月の施行を機に、民主党・自民党などの改憲派が9条を変えようとしています。
- ② 戦争は、どんな理屈をつけても悪です。9条をまもりぬくこそ正義の道です。



憲法擁護富山県民連合

富山県平和運動センター/社民党富山県連合
富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま内
<http://www.peace-toyama.jp/>
2012年5月3日

今こそ 平和憲法を 活かす時

憲法理念を暮らしに活かす 政治が一番

3年前に政権交代したものの、貧困・格差社会の進行が止まりません。

年間所得 200 万円以下の労働者は、4人に1人、5年連続で 1000 万人を超え、非正規労働者も全労働者の 35% を越えて増加の一途をたどっています。また、生活保護受給者が 210 万世帯を超える、自殺率は世界9位、13 年連続で3万人を超える社会にも手立てが打たれていません。

日本社会の閉塞感は極めて深刻です。2009 年の連立政権における「憲法の保障する諸権利の実現を第一とし、国民の生活再建に全力を挙げる」とした約束の実現を求めましょう。

憲法 25 条の生存権の保障で「いのちを大切にする政治」を具体化し、憲法を暮らしに！働く者の雇用と権利・社会保障制度の確立に活かそう！と地域からも憲法を活かす願いを政府へ届けましょう。

「われらは、全世界の国民が、ひとしく
恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存
する権利を有することを確認する」。

この憲法前文は、まさに今の日本の課題です。一緒に憲法をまもり活かす運動を拡げ、政治に反映させましょう。



節目の年 武力なき平和の実現を

沖縄が米軍事占領下から日本復帰して 40 年。

しかし、平和憲法よりも日米安保が優先される中で、米軍基地は居座り続け、変わらない「基地の島沖縄」の現実があります。

日本は、思いやり予算を含め、在日米軍の駐留経費の約 7 割を負担し、日米両国政府の合意の中で、普天間基地の辺野古への移設も消えています。

世界中に軍隊を送り込み、市民を苦しめる軍事基地など、どこにも必要ありません。「憲法9条」を宣言する日本に軍事基地そのものが必要ないのです。

在日米軍基地の縮小・撤去、武力なき平和の実現の声を全国へ拡げましょう。